

2014年度 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2015年4月30日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2014年度 決算 概要

FUJIFILM

2014年度 業績 (2014年4月～2015年3月)

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	対前年度
売上高	24,400 100.0%	24,926 100.0%	526 +2.2%
営業利益	1,408 5.8%	1,724 6.9%	316 +22.4%
税金等調整前 当期純利益	1,572 6.4%	1,971 7.9%	399 +25.4%
当社株主帰属 当期純利益	810 3.3%	1,186 4.8%	376 +46.4%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	168.07円	245.94円	77.87円
ROE	4.2%	5.6%	+1.4%
為替 :米ドル :ユーロ	100円 134円	110円 139円	10円安 5円安

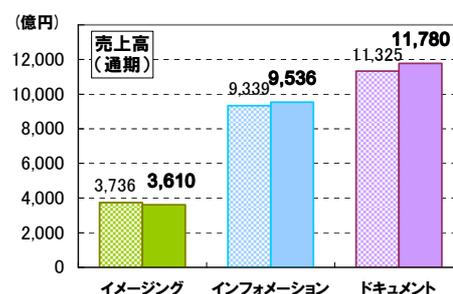
*営業利益 増減要因(対前年度) 為替:+74億円、原材料:-23億円

2014年度 セグメント別:連結売上高/営業利益

(単位:億円)

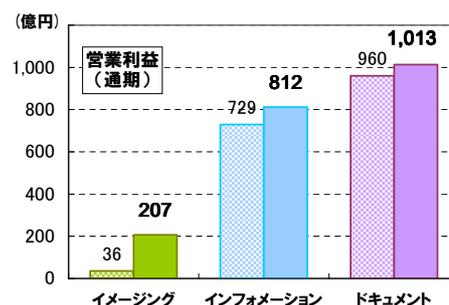
売上高	通期		対前年度	
	2013年度	2014年度		
イメージング	3,736	3,610	-126	(-3.4%)
インフォメーション	9,339	9,536	197	(+2.1%)
ドキュメント	11,325	11,780	455	(+4.0%)
合計	24,400	24,926	526	(+2.2%)

*セグメント間取引消去後



(単位:億円)

営業利益	通期		対前年度	
	2013年度	2014年度		
イメージング	36	207	171	(5.8倍)
インフォメーション	729	812	83	(+11.3%)
ドキュメント	960	1,013	53	(+5.6%)
全社/連結調整	-317	-308	9	
合計	1,408	1,724	316	(+22.4%)



3

2014年度 セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	対前年度	営業利益	前年比
3,610	-126 (-3.4%)	207	171 (5.8倍)

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ チェキ、スマートフォン用プリンター、チェキフィルムなどのインスタントフォトシステムの販売が全世界で好調に推移したことや、「Year Album」などの付加価値プリントビジネスの拡大、プリント機器の設置が進んだことで、売上が増加。
- ・ 電子映像では、コンパクトデジタルカメラのラインアップ縮小により売上減少。プレミアムデジタルカメラ「Xシリーズ」、交換レンズの販売は好調に推移。
- ・ 光学デバイスでは、テレビカメラ用レンズ等の販売は堅調に推移したものの、スマートフォン用カメラモジュールの販売が減少。

デジタルカメラ等の売上減により減収となったものの、
インスタントフォトシステムの販売好調と
デジタルカメラの損益改善により大幅増益

4

2014年度 セグメント別 概況

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)			
売上高	対前年度	営業利益	前年比
9,536	197 (+2.1%)	812	83 (+11.3%)

- ・ メディカルシステムでは、医療ITや超音波診断装置などの販売が好調に推移し売上が増加。医薬品は国内の抗菌薬市場が低調だったもののバイオ医薬品受託製造が堅調に推移し、売上は前年並。
- ・ グラフィックシステムでは、国内での消費税増税による駆け込み需要の反動影響を受けたが海外での販売が堅調に推移し売上増加。
- ・ フラットパネルディスプレイ材料は、WVフィルムの受注減などにより売上は減少したが、テレビの大画面化の影響でプレーンタック、VA用フィルムの販売が堅調に推移。
- ・ 記録メディアは、コンピューター用磁気テープの販売が堅調に推移し売上が増加。
- ・ 産業機材では工業用X線フィルムなどの販売、新規事業での販売は堅調だったが、感圧紙の販売減などにより売上微減。電子材料では幅広い製品の販売が各地域で伸長し、売上が大幅に増加。

フラットパネルディスプレイ材料の売上は減少したが
メディカルシステム、電子材料の好調や
各事業での収益性改善などで増収増益

5

2014年度 セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)			
売上高	対前年度	営業利益	前年比
11,780	455 (+4.0%)	1,013	53 (+5.6%)

- ・ 国内、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出のいずれも売上が増加。
 - オフィスプロダクトは、アジア・オセアニア地域で売上が増加し、全体で増収。
 - オフィスプリンターは、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出の売上が増加し、増収。
 - プロダクションサービスは、国内はやや減収となったが、アジア・オセアニア地域で売上が増加し、全体としては前年並み。
 - グローバルサービスは、富士ゼロックスがサービスを提供する国内及びアジア・オセアニア地域ともに増収。
- ・ 営業利益は、売上増に伴う粗利の増加により増益。

全ての地域において販売が堅調に推移し、
売上増に伴う粗利の増加により、増収増益

6

連結貸借対照表

(単位:億円)

	12年度末	13年度末	14年度末	対13年度末		12年度末	13年度末	14年度末	対13年度末
現金及び現金同等物	4,454	6,046	7,269	1,223	長短社債及び借入金	3,583	3,597	3,497	-100
受取債権	5,889	6,368	6,810	442	支払債務	2,510	2,659	2,690	31
棚卸資産	3,999	3,637	3,725	88	その他流動固定負債	4,255	4,032	4,705	673
有価証券 その他流動資産	1,271	1,566	1,628	62	負債計	10,348	10,288	10,892	604
流動資産計	15,613	17,617	19,432	1,815	株主資本計	18,689	20,206	22,327	2,121
有形固定資産	5,461	5,303	5,274	-29	非支配持分	1,559	1,776	2,347	571
営業権	4,122	4,231	5,050	819	純資産計	20,248	21,982	24,674	2,692
投資有価証券 その他資産	5,400	5,119	5,810	691	負債・純資産合計	30,596	32,270	35,566	3,296
固定資産計	14,983	14,653	16,134	1,481					
資産合計	30,596	32,270	35,566	3,296					

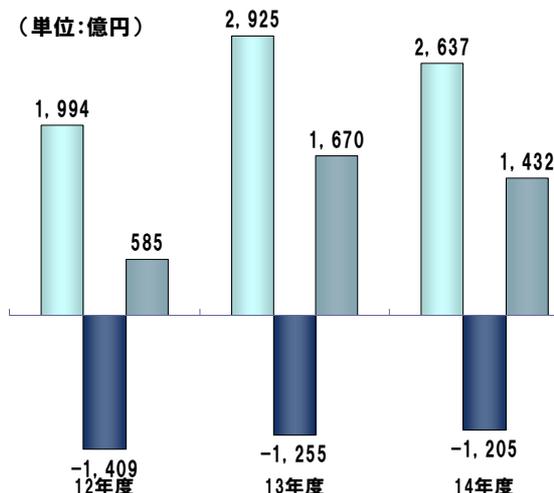
(単位:円)

期末日 為替レート	12年度末	13年度末	14年度末	対13年度末
米ドル	94	103	120	17円安
ユーロ	121	142	130	12円高

7

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



(単位:億円)

	12年度	13年度	14年度
当期純利益	712	1,021	1,371
減価償却費	1,415	1,414	1,229
受取債権の増(-)減(+)	90	-243	-114
棚卸資産の増(-)減(+)	118	580	89
営業債務の増(+)-減(-)	-241	72	-143
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-319	-29	111
その他	219	110	94
営業活動によるCF	1,994	2,925	2,637
設備投資	-899	-703	-569
ソフトウェアの購入	-202	-246	-266
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	133	-56	12
その他	-441	-250	-382
投資活動によるCF	-1,409	-1,255	-1,205
フリー・キャッシュ・フロー	585	1,670	1,432
営業活動によるCF+設備投資	1,095	2,222	2,068

8

2014年度 決算説明会

2015年度 業績予想

2015年4月30日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2015年度 通期業績予想

FUJIFILM

2015年度 連結業績予想（2015年4月30日時点）

	2014年度	2015年度 (予想)	対前年度	(単位:億円) 2016年度目標 (VISION2016)
売上高	24,926 100.0%	25,800 100.0%	874 +3.5%	26,300 100%
営業利益	1,724 6.9%	1,900 7.4%	176 +10.2%	2,200 8.4%
税金等調整前 当期純利益	1,971 7.9%	1,900 7.4%	-71 -3.6%	—
当社株主帰属 当期純利益	1,186 4.8%	1,200 4.7%	14 +1.2%	1,200 4.6%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	245.94円	248.85円	2.91円	—
ROE	5.6%	5%台半ば	—	7.0%
為替 :米ドル	110円	120円	10円安	100円
:ユーロ	139円	130円	9円高	135円
銀価格(/kg)	64,000円	65,000円	+1,000円	76000円

*2015年度 営業利益 為替感応度 米ドル:8億円、ユーロ:8億円

2015年度 セグメント別業績予想 (2015年4月30日時点)

売上高	2014年度	2015年度 (予想)	対前年度	2016年度目標 (VISION2016)
イメージング	3,610	3,550	-60	3,600
インフォメーション	9,536	10,050	514	10,300
ドキュメント	11,780	12,200	420	12,400
合計	24,926	25,800	874	26,300

(単位:億円) *セグメント間取引消去後

営業利益	2014年度	2015年度 (予想)	対前年度	2016年度目標 (VISION2016)
イメージング	207	230	23	250
インフォメーション	812	950	138	1,050
ドキュメント	1,013	1,050	37	1,250
全社/連結調整	-308	-330	-22	-350
合計	1,724	1,900	176	2,200

(単位:億円)

2015年度業績予想のポイント ~中期経営計画 VISION2016達成に向けて~

イメージング

インスタントカメラ、付加価値プリントなどのさらなる拡販によりフォトイメージングで収益を拡大
光学・電子映像で高付加価値領域に注力し収益性を向上

インフォメーション

メディカルシステムの医療IT・内視鏡・超音波・IVD(体外診断)で売上2ケタ%成長
医薬品はバイオ医薬品受託製造が牽引し、売上2ケタ%成長
FPD材料は既存ビジネスの優位性を維持しつつ、新製品の拡販により安定した収益を確保

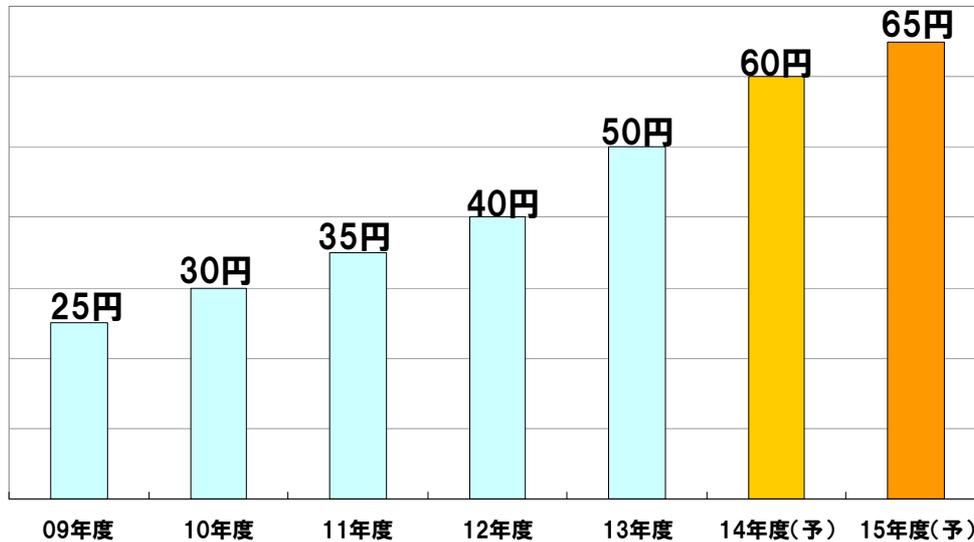
ドキュメント

新興国市場でのさらなる販売ボリュームの拡大、サービス事業の拡大、ソリューション強化による売上成長に加え、一層のコスト・経費削減により収益性を向上

株主還元

■配当金

2015年度の配当金は、6期連続増配となる対前年5円増配の65円/株を予定



FUJIFILM
Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を広げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

2014年度 決算説明会

参考資料

15

2014年度 決算説明会 参考資料

FUJIFILM

4Q/通期 業績

(単位:億円)

	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
売上高	6,656 100.0%	6,774 100.0%	118 +1.8%	24,400 100.0%	24,926 100.0%	526 +2.2%
営業利益	412 6.2%	480 7.1%	68 +16.5%	1,408 5.8%	1,724 6.9%	316 +22.4%
税金等調整前 当期純利益	430 6.5%	439 6.5%	9 +2.2%	1,572 6.4%	1,971 7.9%	399 +25.4%
当社株主帰属 当期純利益	185 2.8%	247 3.6%	62 +33.4%	810 3.3%	1,186 4.8%	376 +46.4%
為替 :米ドル :ユーロ	103円 141円	119円 134円	16円安 7円高	100円 134円	110円 139円	10円安 5円安

*営業利益 増減要因(通期 対前年度) 為替: +74億円、原材料: -23億円

16

4Q/通期 業績

(単位:億円)

売上高	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
イメージング	955	845	-110 (-11.6%)	3,736	3,610	-126 (-3.4%)
インフォメーション	2,628	2,704	76 (+2.9%)	9,339	9,536	197 (+2.1%)
ドキュメント	3,073	3,225	152 (+5.0%)	11,325	11,780	455 (+4.0%)
合計	6,656	6,774	118 (+1.8%)	24,400	24,926	526 (+2.2%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
イメージング	51 [5.2%]	33 [3.9%]	-18 (-34.2%)	36 [1.0%]	207 [5.7%]	171 (5.8倍)
インフォメーション	194 [7.4%]	248 [9.1%]	54 (+27.2%)	729 [7.8%]	812 [8.5%]	83 (+11.3%)
ドキュメント	251 [8.1%]	281 [8.6%]	30 (+12.1%)	960 [8.4%]	1,013 [8.5%]	53 (+5.6%)
全社/連結調整	-84	-82	2	-317	-308	9
合計	412 [6.2%]	480 [7.1%]	68 (+16.5%)	1,408 [5.8%]	1,724 [6.9%]	316 (+22.4%)

17

4Q(3ヶ月) セグメント別 ハイライト

■ イメージング ソリューション

- インスタントフォトシステムの販売が引き続き好調で、フォトイメージングの売上が増加。
- コンパクトデジタルカメラのラインアップ縮小により販売台数は前年同期比で大幅に減少したものの、高級機種「Xシリーズ」の販売は新製品の出荷もあり好調に推移。
- 光学デバイスはスマートフォン用カメラモジュールの販売が減少。

■ インフォメーション ソリューション

- メディカルシステムでは特に超音波画像診断装置の売上が海外を中心に好調に推移。
医薬品は国内の抗菌薬市場低迷の中、主力製品が健闘。バイオ医薬品受託製造の受注も堅調。
- フラットパネルディスプレイ材料は、液晶テレビ向けにVA用フィルム、IPS用フィルムの販売が堅調。
- 産業機材は、「エクスクリア」、太陽電池用バックシートなどの新規製品の受注が増加し、売上が増加。
電子材料は全体的に継続して販売が好調に推移。

■ ドキュメント ソリューション

- 売上は、オフィスプリンター、オフィスプロダクト、プロダクションサービス、グローバルサービスの全ての領域で増収。
- 営業利益は、売上高の増加に伴う粗利の増加により増益。

18

4Q/通期 業績

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
フォトイメージング	523	579	56 (+10.6%)	2,157	2,406	249 (+11.5%)
電子映像	231	148	-83 (-35.8%)	861	697	-164 (-19.0%)
光学デバイス	201	118	-83 (-41.4%)	718	507	-211 (-29.3%)
光学・電子映像	432	266	-166 (-38.4%)	1,579	1,204	-375 (-23.7%)
合計	955	845	-110 (-11.6%)	3,736	3,610	-126 (-3.4%)

*セグメント間取引消去後

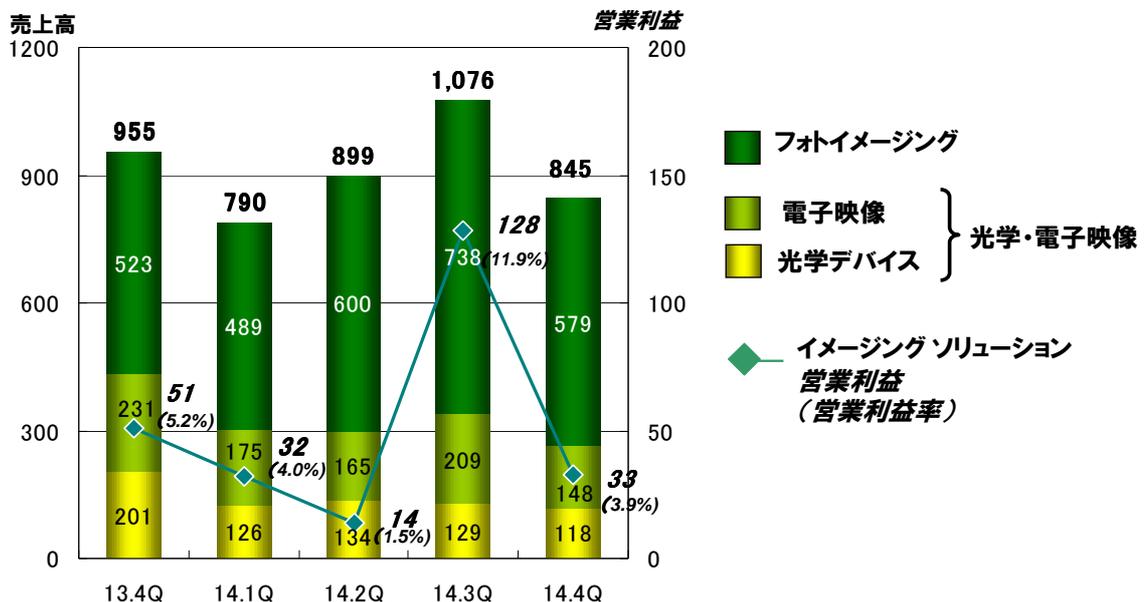
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
イメージング	51 [5.2%]	33 [3.9%]	-18 (-34.2%)	36 [1.0%]	207 [5.7%]	171 (5.8倍)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)



4Q/通期 業績

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
ヘルスケア	1,222	1,247	25 (+2.1%)	3,820	3,943	123 (+3.2%)
グラフィックシステム	757	760	3 (+0.5%)	2,800	2,836	36 (+1.3%)
フラットパネルディスプレイ材料	292	306	14 (+4.6%)	1,382	1,288	-94 (-6.8%)
記録メディア	134	125	-9 (-6.3%)	465	482	17 (+3.7%)
産業機材/電子材料他	223	266	43 (+19.1%)	872	987	115 (+13.2%)
合計	2,628	2,704	76 (+2.9%)	9,339	9,536	197 (+2.1%)

*セグメント間取引消去後

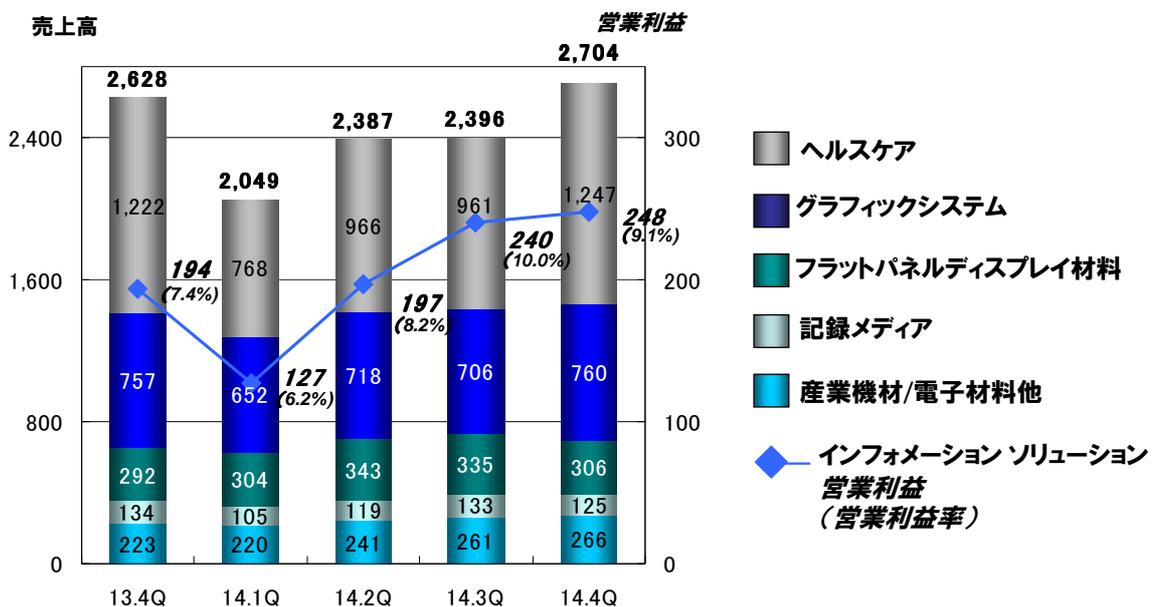
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
インフォメーション	194 [7.4%]	248 [9.1%]	54 (+27.2%)	729 [7.8%]	812 [8.5%]	83 (+11.3%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)



4Q/通期 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

売上高	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
オフィスプロダクト	1,313	1,333	20 (+1.5%)	5,149	5,203	54 (+1.0%)
オフィスプリンター	506	561	55 (+10.9%)	1,839	1,912	73 (+4.0%)
プロダクションサービス	427	435	8 (+1.9%)	1,555	1,567	12 (+0.8%)
グローバルサービス	446	556	110 (+24.7%)	1,541	1,866	325 (+21.1%)
その他	381	340	-41 (-10.7%)	1,241	1,232	-9 (-0.7%)
合計	3,073	3,225	152 (+5.0%)	11,325	11,780	455 (+4.0%)

*セグメント間取引消去後

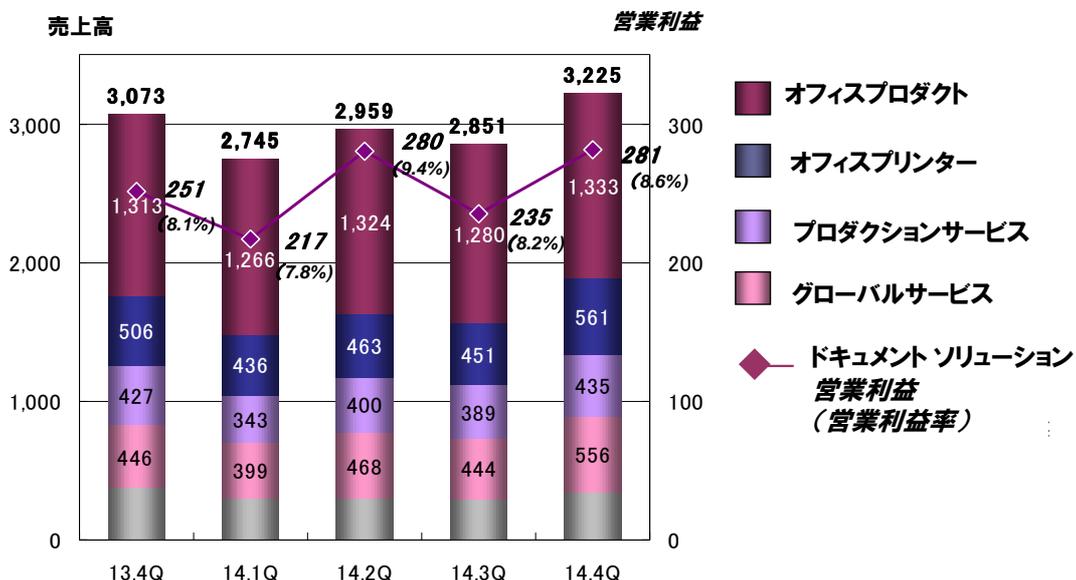
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q			通期		
	2013年度	2014年度	対前年度	2013年度	2014年度	対前年度
ドキュメント	251 [8.1%]	281 [8.6%]	30 (+12.1%)	960 [8.4%]	1,013 [8.5%]	53 (+5.6%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)



国内・海外別連結売上高

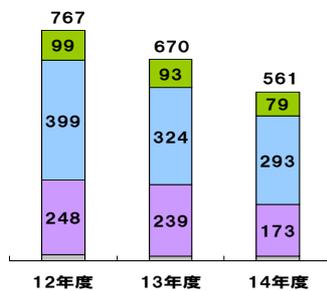
(単位:億円)

	2013年度		2014年度		対前年度
	構成比 (%)		構成比 (%)		
日本	42.5%	10,369	41.2%	10,265	-104 (-1.0%)
米州	17.9%	4,367	18.7%	4,665	298 (+6.8%)
欧州	12.0%	2,928	11.6%	2,893	-35 (-1.2%)
内、中国	10.6%	2,572	11.0%	2,747	175 (+6.8%)
アジア他	27.6%	6,736	28.5%	7,103	367 (+5.4%)
海外	57.5%	14,031	58.8%	14,661	630 (+4.5%)
合計	100.0%	24,400	100.0%	24,926	526 (+2.2%)

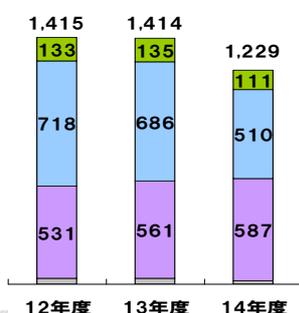
設備投資、減価償却費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

設備投資(通期)



減価償却費(通期)



(単位:億円)

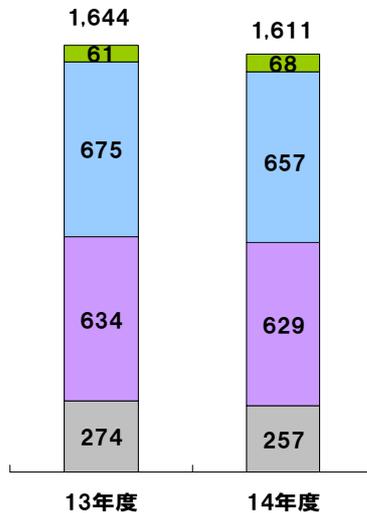
年度	4Q			通期			2015 (予想)
	2012	2013	2014	2012	2013	2014	
イメージング	28	18	29	99	93	79	-
インフォメーション	91	106	99	399	324	293	-
ドキュメント	110	49	35	248	239	173	-
コーポレート	7	3	5	21	14	16	-
設備投資 ※	236	176	168	767	670	561	800
イメージング	45	41	32	133	135	111	-
インフォメーション	200	178	130	718	686	510	-
ドキュメント	137	144	155	531	561	587	-
コーポレート	7	8	5	33	32	21	-
減価償却費	389	371	322	1,415	1,414	1,229	1,300
有形固定資産の 減価償却費 ※	269	254	173	934	907	651	750

※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル機器を除く。

研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

研究開発費(通期)



(単位:億円)

年度	4Q		通期		
	2013	2014	2013	2014	2015 (予想)
イメージング	2	19	61	68	-
インフォメーション	178	179	675	657	-
ドキュメント	159	154	634	629	-
コーポレート	77	69	274	257	-
研究開発費	416	421	1,644	1,611	1,650
<売上高比>	6.3%	6.2%	6.7%	6.5%	6.4%
販売費及び一般管理費	1,560	1,681	6,159	6,280	-
<売上高比>	23.4%	24.8%	25.2%	25.2%	-

為替、原材料価格、人員

為替

(単位:円)

	2013年度					2014年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル	99	99	101	103	100	102	104	115	119	110
ユーロ	129	131	137	141	134	140	138	143	134	139

原材料価格 (平均)

(単位:千円/kg)

	2013年度					2014年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
銀	78	68	68	67	71	65	67	62	64	64

人員

(単位:人)

	2014.3末	2014.6末	2014.9末	2014.12末	2015.3末
連結	78,595	79,192	80,590	80,248	79,235

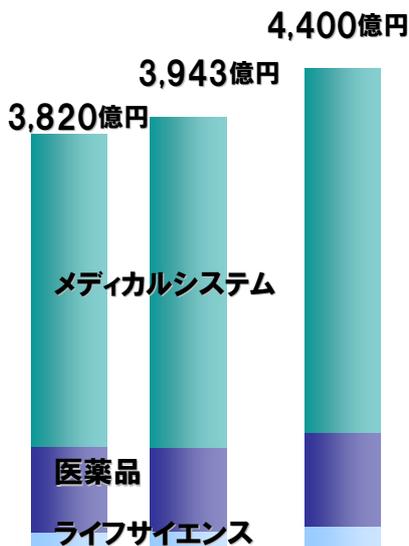
パイプライン

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階	備考	
T-705	抗インフルエンザウィルス剤	経口	日本	承認済み	2014年3月承認(アピガン錠®)	
			米国	Ph III 実施中	国防省の助成金により臨床試験実施中	
T-3811	キノロン系合成抗菌剤	経口	中国	承認申請中	国内はジェニナック錠として上市済み	
T-2307	抗真菌剤	注射	米国	Ph I 終了		
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	経口	米国	Ph II 実施中	Alzheimer's Disease Cooperative Study (ADCS) と臨床試験実施中	
			日本	Ph II 実施中	京都大学iPS細胞研究所との共同研究によりバイオマーカーの探索・特定を目指す	
T-4288	マクロライド系抗菌剤	経口	日本	Ph II 実施中		
バイオ	ITK-1	去勢抵抗性前立腺がん治療剤	注射	日本	P III 実施中	
FF-10501	再発・難治性骨髄異形性症候群治療剤	経口	日本	Ph I 実施中		
			米国	Ph I 実施中		
バイオ	FF-21101	進行・再発非小細胞肺がん/脾がん治療剤 (Armed抗体)	注射	米/欧/日	非臨床試験実施中	MDアンダーソンがんセンター(米国)と臨床開発推進中
FF-10502	進行・再発脾がん/卵巣がん治療剤	注射	米/欧/日	非臨床試験実施中		
F-1311	前立腺がん診断薬(放射性医薬品)		日本	Ph I 実施中		

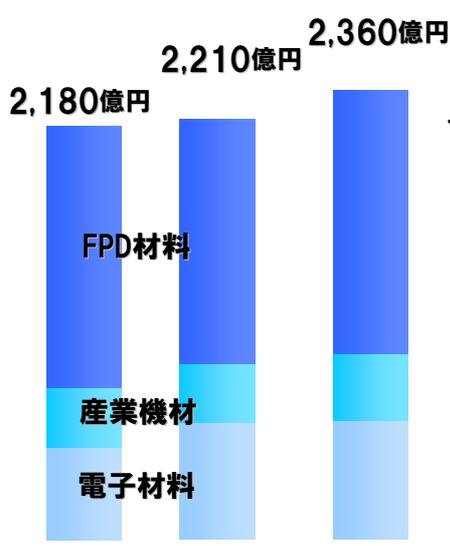
※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクスのFKB327(アタリムマブバイオシミラー)は、米国、その他でPh III 実施中。FKB238(ペバシズマブバイオシミラー)は、欧州でPh I 実施中。

中期経営計画 VISION2016 進捗

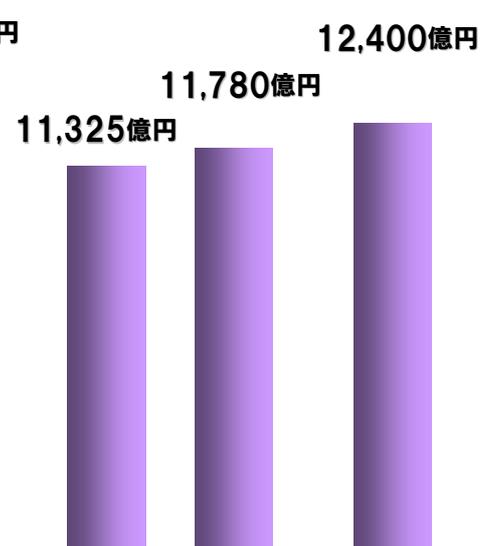
<ヘルスケア>



<高機能材料>



<ドキュメント>



2013年度 実績 2014年度 実績 2016年度 目標

2013年度 実績 2014年度 実績 2016年度 目標

2013年度 実績 2014年度 実績 2016年度 目標

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フィルムホールディングス アニュアルレポート2014

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/annual_reports/2014/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- 2014年 11月 医薬品事業説明会
- 2015年 2月 ドキュメント事業説明会

・カンファレンス資料

- 2015年 3月 大和インベストメントカンファレンス東京2015

富士フィルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

31

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を広げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>